

SPSSによるデータ分析 正誤表

ページ	行	誤	正
iv	5	$p < .038$	$p = .038$
45	下から13	(未婚、既婚、離別・死別)	(未婚、既婚)
48	4	$0 + 200 + 300 + 300 + 500 + 800 \div 6$	$(0 + 200 + 300 + 300 + 500 + 800) \div 6$
50	図4.2(d)	双峰	単峰
60	5	「統計」	「統計量」
61	2~3	「母集団は正規分布に従う」	「データが正規分布にしたがっている」
68	8	男性45歳以上	45歳以上
79	下から2	50歳以上、または	50歳以上OR
83	6~7	標本のデータ数	データ数
90	図6.9	左の1.96	-1.96
112	4	[期待度数]と[調整済みの標準化]	[期待]と[調整済みの標準化]
117	囲み中の3	$p < .001$	$p = .001$
117	囲み中の4	$(p < .01)$	$(z = -3.24, p = .001)$
117	囲み中の5	$(p < .05)$	$(z = 2.23, p = .026)$
122	囲み中の1~2	再度の結果、	再度調査した結果、
125	下から1	$(N_1 - 1) + (N_2 - 1)$	$(n_1 - 1) + (n_2 - 1)$
126	5		(xの2箇所をyに変更)
136	側注 1	分散化	分散比
136	14		(下付きのjをJに変更)
140	表9.2	多元配置	一元配置
143	4	「平方和」 $MS_B \div$ 「グループ内」 \div 「平	「平均平方」 $MS_B \div$ 「グループ内」の「平
169	1	(記述統計量や効果量を出力)	(記述統計量を出力)
173	囲み中の1	22.9	204.5
173	囲み中の2	23.5	209.8
173	囲み中の2	23.9	213.4
182	囲み中の2	0, 200, 300, 300, 500, 800	0, 200, 300, 400, 500, 800
198	下から9	重回帰式	回帰式
199	下から6	サンプル	年収調査
199	側注削除	使用するデータファイルを提示しています。	(2行削除)
199	下から1~2	(平均値、標準偏差、相関係数を出力したい場合)----[記述統計量]に	(2行削除)
205	下から4	b_1, b_2, \dots, b_p	b_1, b_2, \dots, b_p
206	7	複数場合	複数の場合
207	下から5	多くの場合の値をとり、が大きい	多くの場合 $-1 \leq \beta_j \leq 1$ の値をとり、 $ \beta_j $ が大きい
211	下から6	回帰係数 b_1	回帰係数 b_j
213	下から4	しまう^▲ため、	しまうため、
213	側注削除	SPSSですべてのダミー変数を投入すると、自動的に1つが除外されます。	(3行削除)
214	図14.3 縦軸	b_1	$b_0 + b_1$
214	下から4	カテゴリよりも平均的	カテゴリよりもyが平均的
215	図14.4 縦軸	b_1	$b_0 + b_1$
215	下から4	変化量の違い	傾きの違い
231	下から4	Q-Qプロット	P-Pプロット
252	下から2	全測定変数	全観測変数